

(様式 ー 1)

2-1 土工、ほ場整備工事

令和 年 月 日

工事名： \_\_\_\_\_

受注者名： \_\_\_\_\_

作成者： \_\_\_\_\_

### 基本設計データチェックシート

項目	対象	内容	チェック結果
①基準点及び 工事基準点	全点	・ 監督職員の指示した基準点を使用しているか。	
		・ 工事基準点の名称は正しいか。	
		・ 座標は正しいか。	
②平面線形	全延長	・ 起終点の座標は正しいか。	
		・ 変化点（線形主要点）の座標は正しいか。	
		・ 曲線要素の種別、数値は正しいか。	
		・ 各測点の座標は正しいか。	
③縦断線形	全延長	・ 線形起終点の測点、座標は正しいか。	
		・ 縦断変化点の測点、標高は正しいか。	
		・ 曲線要素は正しいか。	
④出来形横断 面形状	全延長	・ 作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か。	
		・ 基準高、幅、法長は正しいか。	
		・ 出来形計測対象点の記号が正しく付与できているか	

- (1) 各チェック項目について、チェック結果欄に「○」を記入すること。
- (2) 受注者が監督職員に本様式を提出した後に、監督職員から内容を確認するための資料請求があった場合は、受注者は速やかに以下の資料等を提示するものとする。
  - 1) 工事基準点リスト（チェック入り）
  - 2) 線形計算書（チェック入り）
  - 3) 平面図（チェック入り）
  - 4) 縦断図（チェック入り）
  - 5) 横断図（チェック入り）
- (3) 添付資料については、上記以外に分かりやすいものがある場合は、その資料の提示でよい。

(様式 ー 1)

2-2 舗装工事

令和 年 月 日

工事名： \_\_\_\_\_

受注者名： \_\_\_\_\_

作成者： \_\_\_\_\_

### 基本設計データチェックシート

項目	対象	内容	チェック結果
①基準点及び 工事基準点	全点	・ 監督職員の指示した基準点を使用しているか。	
		・ 工事基準点の名称は正しいか。	
		・ 座標は正しいか。	
②平面線形	全延長	・ 起終点の座標は正しいか。	
		・ 変化点（線形主要点）の座標は正しいか。	
		・ 曲線要素の種別、数値は正しいか。	
		・ 各測点の座標は正しいか。	
③縦断線形	全延長	・ 線形起終点の測点、座標は正しいか。	
		・ 縦断変化点の測点、標高は正しいか。	
		・ 曲線要素は正しいか。	
④出来形横断 面形状	全延長	・ 作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か。	
		・ 幅・基準高は正しいか。	
		・ 出来形計測対象点の記号が正しく付与できているか	

- (1) 各チェック項目について、チェック結果欄に「○」を記入すること。
- (2) 受注者が監督職員に本様式を提出した後に、監督職員から内容を確認するための資料請求があった場合は、受注者は速やかに以下の資料等を提示するものとする。
  - 1) 工事基準点リスト（チェック入り）
  - 2) 線形計算書（チェック入り）：新設舗装工事のみ
  - 3) 平面図（チェック入り）
  - 4) 縦断図（チェック入り）
  - 5) 横断図（チェック入り）
  - 6) 構造図（チェック入り）：縁石工・排水構造物工のみ
- (3) 添付資料については、上記以外に分かりやすいものがある場合は、その資料の提示でよい。

(様式 - 2)

精度確認試験結果報告書

計測実施日：令和 年 月 日

機器の所有者・試験者あるいは精度管理担当者：(株)〇〇測量

〇〇 〇〇

<p>精度確認の対象機器 メーカー：(株)ABC社 測定装置名称：ABC-123 測定装置の製造番号：ABC0123</p>	<p>写真</p>
<p>検証機器（真値を測定する測定機器） <input type="checkbox"/>TS : 3級TS以上 <input type="checkbox"/>機種名（級別〇級）</p>	<p>写真</p>
<p>測定記録 測定期日：令和〇年〇月〇日 測定条件：天候 晴れ           気温 18℃ 測定場所：(株)〇〇〇〇           構内道路改修工事にて 検証機器と既知点の距離： m</p>	
<p>精度確認方法 ■TSと国土地理院で規定が無いTS等光波方式の各座標の較差</p>	

精度確認試験結果（詳細）

① 真値の計測結果（3級TS）

Blank area for recording the true value measurement results (3rd grade TS).

② 国土地理院で規定が無いTS等光波方式による計測結果

計測状況写真

Blank area for recording the measurement status photos.

③ 差の確認（測定精度）

国土地理院で規定が無いTS等光波方式による計測結果（X' , Y' , Z' ）  
 — 真値の計測結果（X, Y, Z）

既知点の座標間較差

	$\Delta X$	$\Delta Y$	$\Delta Z$
1 点目			
2 点目			

X成分（最大） =  
 Y成分（最大） =  
 Z成分（最大） =

Blank area for recording the maximum component values.

工事名： \_\_\_\_\_

受注者名： \_\_\_\_\_

作成者： \_\_\_\_\_

## カメラキャリブレーション及び精度確認試験結果報告書

### 1. カメラキャリブレーションの実施記録

①カメラキャリブレーション実施日	令和 年 月 日
②作業機関名	
③実務担当者	
④使用するデジタルカメラ	メーカー名称 : (製造メーカー名) 測定装置名称 : (商品名、機種名) 測定装置の製造番号 : (製造番号)

### 2. 精度確認試験結果 (概要)

①精度確認試験実施年月日	令和 年 月 日
②作業機関名	
③実務担当者	
④測定条件	天候 気温
⑤測定場所	
⑥検証機器 (検証点を確認する機器)	T S : 3級T S 以上 <input type="checkbox"/> 機種名 (特別〇級)
⑦精度確認結果	検証点の各座標の較差

※カメラの位置計測に用いた機器がある場合は、以下を記入すること。

(カメラの位置計測に用いた機器)

①メーカー名	
②名 称	
③製造番号	
④写 真	

精度確認試験結果（詳細）

①真値とする検証点の確認

写真

計測方法 : 既知点 or TSによる座標値計測

真値とする検証点の位置座標			
	X	Y	Z
1点目			
2点目			

②空中写真測量による計測結果

写真

空中写真測量で測定した検証点の位置座標			
	X'	Y'	Z'
1点目			
2点目			

③差の確認

空中写真測量による計測結果 (X'、Y'、Z') - 真値とする検証点の座標値 (X、Y、Z)

検証点の座標点較差			
	$\Delta X$	$\Delta Y$	$\Delta Z$
1点目			
2点目			

X成分 (最大) =

Y成分 (最大) =

Z成分 (最大) =

※各成分の合格判定は、基準値 5 cm以内。

工事名： \_\_\_\_\_

受注者名： \_\_\_\_\_

作成者： \_\_\_\_\_

## T L S 精度確認試験結果報告書

### 1. 精度確認の対象機器

①メーカー名	:	写真
②測定装置名称	:	
③測定装置の製造番号	:	

### 2. 検証機器（標定点を計測する測定機器）

<input type="checkbox"/> テープによる検証	: J I S ○ 種 ○ 級	写真
	<input type="checkbox"/> (商品名○○)	
<input type="checkbox"/> T S による検証	: 3 級 T S 以上	
	<input type="checkbox"/> (商品名○○)	

### 3. 測定記録

①測定期日	:	写真
②測定条件	天候 :	
	気温 :	
③測定場所	:	
	:	

### 4. 精度確認の方法

<input type="checkbox"/> 既知点の座標間距離	
------------------------------------	--

精度確認試験結果（詳細）

①テープによる検査点の確認

写真

計測方法 : テープ or T Sによる座標間距離 or T Sによる座標値計測  
計測結果 (L) : m

②T L Sによる確認

写真

T L Sによる既知点の点間距離 (L')				
	X	Y	Z	点間距離
1点目				
2点目				

③差の確認

T L Sの計測結果による点間距離 (L') - テープによる実測距離 (L)

差 =

※合格判定は、基準値20mm以内。



工事名： \_\_\_\_\_

受注者名： \_\_\_\_\_

作成者： \_\_\_\_\_

## G N S S の精度確認試験結果報告書

### 1. 精度確認の対象機器

①メーカー名	:	写真
②測定装置名称	:	
③測定装置の製造番号	:	

### 2. 検証機器（標定点を計測する測定機器）

<input type="checkbox"/> TSによる検証	:	3級TS以上	写真
		<input type="checkbox"/> (機種名〇〇)	

### 3. 測定記録

①測定期日	:	写真
②測定条件	天候 :	
	気温 :	
③測定場所	:	

### 4. 精度確認の方法

<input type="checkbox"/> 既知点の各座標の較差	
-------------------------------------	--

精度確認試験結果（詳細）

①真値の計測結果

写真

計測方法 : 既知点 or TSによる座標値計測

真値とする検証点の位置座標			
	X	Y	Z
1点目			
2点目			

②GNSSによる計測結果確認

写真

空中写真測量で測定した検証点の位置座標			
	X'	Y'	Z'
1点目			
2点目			

③差の確認（精度確認）

GNSSによる計測結果（X'、Y'、Z'）－真値とする検証点の座標値（X、Y、Z）

検証点の座標点較差			
	$\Delta X$	$\Delta Y$	$\Delta Z$
1点目			
2点目			

X成分（最大） =

Y成分（最大） =

Z成分（最大） =

※各成分の合格判定は、X及びYは基準値2cm以内、Zは基準値3cm以内。

工事名： \_\_\_\_\_

受注者名： \_\_\_\_\_

作成者： \_\_\_\_\_

### 3次元設計データチェックシート

項目	対象	内容	チェック結果
①基準点及び 工事基準点	全点	・ 監督職員の指示した基準点を使用しているか。	
		・ 工事基準点の名称は正しいか。	
		・ 座標は正しいか。	
②平面線形	全延長	・ 起終点の座標は正しいか。	
		・ 変化点（線形主要点）の座標は正しいか。	
		・ 曲線要素の種別、数値は正しいか。	
		・ 各測点の座標は正しいか。	
③縦断線形	全延長	・ 線形起終点の測点、座標は正しいか。	
		・ 縦断変化点の測点、標高は正しいか。	
		・ 曲線要素は正しいか。	
④出来形横断面形状	全延長	・ 作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か。	
		・ 基準高、幅、法長は正しいか。	
⑤ 3次元設計データ	全延長	・ 入力した2)～4)の幾何形状と入力する3次元設計データは同一となっているか。	

- (1) 各チェック項目について、チェック結果欄に「○」を記入すること。
- (2) 受注者が監督職員に本様式を提出した後に、監督職員から内容を確認するための資料請求があった場合は、受注者は速やかに以下の資料等を提示するものとする。
  - 1) 工事基準点リスト（チェック入り）
  - 2) 線形計算書（チェック入り）
  - 3) 平面図（チェック入り）
  - 4) 縦断図（チェック入り）
  - 5) 横断図（チェック入り）
  - 6) 3次元ビュー（ソフトウェアによる表示あるいは印刷物）
- (3) 添付資料については、上記以外に分かりやすいものがある場合は、その資料の提示でよい。

# 出来形管理図表

工事名 ○○○工事

工種 盛土工

測点 No.○ ~ No.○

合否判定結果 合格

